

## <救い主を探し当てた羊飼い>

ルカ2：8～20

クリスマスキャロル チャールズ・ディケンズ著作  
『今のあなたは、あの頃なりたかったあなたですか?』  
という問いかけがある。

### 【神の御子イエス・キリストの誕生】

- ・華々しい王宮ではなく、貧しい家畜小屋で誕生された。
- ・時はローマ帝国全盛の時代。  
皇帝アウグストから人口調査の勅令が發布。
- ・ガリラヤのナザレからベツレヘムへの長旅。片道120キロ
- ・ヨセフは、聖霊によってキリストを身ごもり、身重になったマリヤをロバに乗せて移動。



ベツレヘム・エフラタよ、あなたはユダの氏族のうちで小さい者だが、イスラエルを治める者が  
あなたのうちからわたしのために出る。その出るのは昔から、いにしえの日からである。 ミカ5：2

・宿屋はどこもいっぱい。身重のマリヤを見ても、誰一人場所を空けはてくれない。  
マリヤは月が満ちて男の子を生み、その子を葉桶の中に寝かせた。

◆救い主が誕生された家畜小屋は、権力や地位、名誉などがある人々から一番遠い  
ひっそりとした所。しかしこのような誕生が神の望まれたことだった。

男子の初子を産んだ。それで、布にくるんで、飼葉おけに寝かせた。  
宿屋には彼らのいる場所がなかったからである。【7節】

『迎え入れてはくれない』誕生。しかし、イエス様の御生涯は『人を迎え入れる』  
歩みだった。

人の子が来たのも、仕えられるためではなく、かえって仕えるためであり、また、多くの人のための  
贖いの代価として、自分のいのちを与えるためなのです。 マルコ10：45

十字架での死を目前にし、弟子の足を洗われたイエス様。そこには  
裏切り者のイスカリオテユダの足もあった。

◆イエス・キリストは、人を苦しめ、悩ます根源である罪に対する解決の道を拓いて  
くださった。それが、罪人が処刑される十字架上での死。そして復活。

キリストは神の御姿である方なのに、神のあり方を捨てられないとは考えず、ご自分を無にして、仕える者の姿をとり、人間と同じようになられました。人としての性質をもって現れ、自分を卑しくし、死にまで従い、実に十字架の死にまで従われました。ピリピ 2 : 6 ~ 8

理解する・・・under stand 下に立つこと

◆イエス様はすべての人の下に立たれた。そして私たちを理解してくださる。

救い主の誕生の知らせを真っ先に聞いたのは羊飼いたち！

過酷な労働を強いられる仕事。3K。きつい、汚い、危険。

仕事の価値は低く、社会の最下層として見下された扱い。

世に生まれてきた意味や、将来を描く選択支などもなかった。

人口調査の対象外。数にも数えられなかった。

きょうダビデの町で、あなたがたのために、救い主がお生まれになりました。この方こそ主キリストです。あなたがたは、布にくるまって飼葉おけに寝ておられるみどりごを見つけます。これが、あなたがたのためのしるしです。 ルカ 2 : 9 ~ 12

羊飼いたちは、言葉を一旦受け止めて、それが本当か、どういう意味なのかを確かめようと出かけた。

「さあ、ベツレヘムに行って、主が私たちに知らせてくださったこの出来事を見て来よう。」

そして急いで行って、マリヤとヨセフと、飼葉おけに寝ておられるみどりごを捜し当てた。

そして、羊飼いたちは、見聞きしたことが、全部御使いの話のとおりだったので、神をあがめ、賛美しながら帰って行った。

羊飼いたちは何を受け取ったのか・・・？

・救い主をまじかで拝する特権。

社会的な地位のある民の指導者や宗教的立場にある人たちを後回しにし、御子の誕生を祝うにふさわしい最も重要な人という扱い。「あなたは忘れられていない、大切な人」という神からのメッセージ

・救い主に出会った喜び。

羊飼いたちの「行動」は彼らの信仰の現れ。与えられた御言葉を信じるとは、その御言葉が指し示すことを「行って」「見る」こと。